

有限会社赤松牧場

一般型

設備投資

地元酪農家による大型児童館での自社生乳を使ったジェラート販売

弊社の牧場は香川県の大型児童館の近隣にある。この児童館の利用者は年間約60万人で、多くは家族連れである。ここで完全自家育成牛の新鮮な生乳を使い、高い製造技術による高品質ジェラートを販売する。子どもにこそ良い物を食べてもらいたいとの願いがある。

Q 取組の背景

Background of efforts

現在、TPP問題も含め、国内農業は生存競争のなかにいる。香川県内農業も例外ではなく、自らの生きる道を模索せねばならない。県内の酪農家に限ってみても、戸数が平成16年では207戸であったが、現在はそのおよそ半分の100戸まで減少している。

このようななかで、県内にも本気で農業に取り組み、付加価値の高い農産物を生産している農家も多くいる。そのような農産物を県内の、特に未来を担う子どもたち、また、子育て世代に知ってもらいたい。輸入農産品でなく、国内でも流通コストのかかる県外の農産品でなく、もっと自分たちの身近な所で作られている高品質な農産品を食べるという文化の定着が急務である。

牛乳に限ってみても、少子化による学校給食での消費量の減少、清涼飲料水等の多様化が進み、子どもをはじめとする「牛乳離れ」に伴い、牛乳の消費量は減少傾向になっている。牛乳そのものとともに本格的に加工した本物の「おいしい」乳製品を食べてもらうことで、消費拡大に貢献したい。

このような願いのもと、現在のジェラートショップ「ロイヤルファームアカマツ」は、高松空港から近く、地元客の認知度も高いが、店舗面積、駐車場の設備からハイシーズンには客を逃す現状にある。また、コンセプトとして、大人の高級感を打ち出しているため、ジェラート単価も高めに設定されている。

事業の実施内容

Implementation content

前述の背景をもとに、現状における限界を打破すべく、子育て世帯の集客力のある施設「さぬきこどもの国」にて販売を行う。地元の農産物の良さを認知してもらい、家族客が気軽に食べられる価格、子どもの好むミルク系のジェラートを多く取りそろえ、「地産地消・食育」をコンセプトに展開する。

「さぬきこどもの国」は、公益財団法人 香川県児童・青少年健全育成事業団が管理・運営している県内唯一の大型児童館である。この施設は人口約100万人の香川県の中で、年間約60万人の利用があり、多くが子どもとその家族である。当該施設内の店舗は少なく、自動販売機と簡易な飲食店のみである。この出店は、既存の乳製品加工販売部門の店舗運営を行ってきたなかでの、多くの消費者からの強い要望であり、「さぬきこどもの国」では唯一の製造・販売者である。この店舗運営に当たり必要となる「ジェラートショーケース」と「卓上型券売機」「テーブル型冷蔵庫・大型冷凍庫」を購入した。



【図1】冷凍庫の設置状態(左上) / テーブル型冷蔵庫の設置状態(右上) / ジェラートショーケースの設置状態(左下) / 券売機の設置状態(右下)

事業の成果

Achievement

自社にて搾乳したその日のうちに加工した新鮮な牛乳を使用し、本店での製造責任者が自ら製造し、妥協のないジェラートを提供したことにより、市販のジェラートよりも、新鮮で安心して食べられるジェラートを来館者に提供できた。牛乳以外でも、地元食材を使用することにより、子どもたちに質の良い地元農産物をより身近に感じてもらえたものと思われる。



【図2】デコレーション技術を駆使した商品ディスプレイも特徴

今後の展望

Future prospects

1) 収益拡大

当社の新規店舗として軌道に乗れば、十分に収益の拡大につながるものと考えられる。

2) さぬきこどもの国の機能向上

科学体験、大型遊具設備が主であったが、食育の場の機能も付加される。また、平日に下記7)のような利用ができれば、来客の少ない平日の集客も可能となる。

3) 地元農産物(果物)の消費拡大

自社の牛乳や県内産の果物等の使用により消費が拡大する。

4) 牛乳の消費拡大

子ども達に地元の牛乳・乳製品への親しみを持たせることで日常生活における牛乳・乳製品の消費拡大に繋がる。

5) 食育

自分たちの暮らす地元の新鮮な農産物を知ること、食に対する知識や食を選びとる力を付けることができる。

6) 雇用の確保

完全な新規店舗となるので、そこで働く人の雇用が増えることとなる。

7) 教育現場との連携・協力

「さぬきこどもの国」は、県内の幼稚園等の遠足にも利用されている。また、地元の小学校とも協力することにより食育の現場として活用が可能となる。

COMPANY PROFILE



有限会社赤松牧場

所在地 〒761-1402
香川県高松市香南町由佐2240

TEL 087-813-8602

設立 2003年1月

代表者 赤松 省一

業種 農業

従業員数 9名

事業内容

酪農
乳製品加工販売



事業責任者 赤松 美智子

「良い商品を自らの手で消費者に届けたい」

弊社は、1972年に乳牛30頭の飼育開始し、法人化をした2003年には飼養頭数150頭となりました。2010年には、乳製品販売加工部門立ち上げ、牛舎近くに乳製品を加工販売するジェラートショップ「ロイヤルファームアカマツ」をオープン。6次産業化の取り組みを開始しました。おかげさまで、現在、飼養頭数230頭(育成牛80頭、成牛150頭)、酪農部門7名、乳製品加工販売部門2名が従事しています。

当初、生乳の出荷先は農協のみ、価格も県内統一価格であり、近隣農家の生乳との合乳となるため、当社独自のこだわりで作りだした高品質な生乳を独自に販売できない状況にありました。このようななかで、創業者である社長の「良い商品を自らの手で消費者に届けたい」という創業当時の夢でもあった独自の販売方法として、創業38年目にして、牛舎近くに乳製品を加工販売するジェラートショップ「ロイヤルファームアカマツ」をオープンいたしました。ぜひ、お立ち寄りください。